

仕 様 書

1 件名

消防吏員用被服類の購入（単価契約）

2 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

3 納品場所

- (1) 草加市神明二丁目 2 番 2 号
草加八潮消防局・草加消防署
- (2) 草加市西町 1 0 8 番地 2
草加消防署西分署
- (3) 草加市青柳六丁目 2 3 番 6 号
草加消防署青柳分署
- (4) 草加市清門二丁目 1 番地 4 3
草加消防署北分署
- (5) 草加市谷塚町 5 2 5 番地 2
草加消防署谷塚ステーション
- (6) 八潮市大字鶴ヶ曾根 1 1 8 5 番地
八潮消防署

4 支払方法

契約単価に発注数量を乗じた金額に消費税及び地方消費税を加えて、納品確認後、その都度支払うものとする。

また、請求書の送付先は、草加八潮消防局総務課とする。

5 発注予定数量

別添 1 のとおり

6 概要規格等

別添 2 のとおり

7 その他

(1) 発注サイズの決定

ア 採寸は、契約業者がサイズ見本を持参し、実施すること。

イ 採寸の日時及び場所にあつては、担当者の指示に従うこと。

ウ ズボン丈、袖丈の延長等、見本以外のサイズにも対応すること。

エ ズボンの股下丈は、受注者が調整すること。

オ 既製サイズ以外のサイズにも柔軟に対応すること。

(2) この仕様書の細部について疑義が生じた場合は、担当者と協議して指示を受けるものとする。

(3) 個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び別記外部委託における情報セキュリティ遵守事項を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

(4) 不当要求等に関し、次の事項を遵守すること。

ア 受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、組合管理者に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。

イ 受注者は、組合及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

8 同等品規格確認票

仕様書記載規格の同等品以上で積算する場合は、見積書提出前に草加八潮消防組合総務課の担当者にカタログ等を提示して必ず説明を行い、同等品規格確認票を提出し承認を得ること。

9 問合せ先

草加八潮消防組合 草加八潮消防局総務課 職員係 越路
電話 048-924-2112 内線(50)222

発注予定数量

品目	予定数	単位
制服(冬)上衣(男性用)	15	着
制服(冬)下衣(男性用)	21	着
制服(冬)上衣(女性用)	1	着
制服(冬)下衣(女性用)	4	着
制服(夏)上衣長袖(男性用)	46	着
制服(夏)上衣半袖(男性用)	54	着
制服(夏)下衣(男性用)	55	着
制服(夏)上衣長袖(女性用)	5	着
制服(夏)上衣半袖(女性用)	6	着
制服(夏)下衣(女性用)	6	着
活動服(冬)上衣(男性用)	40	着
活動服(冬)下衣(男性用)	53	着
活動服(冬)上衣(女性用)	1	着
活動服(冬)下衣(女性用)	2	着
活動服(夏)上衣(男性用)	66	着
活動服(夏)下衣(男性用)	88	着
活動服(夏)上衣(女性用)	2	着
活動服(夏)下衣(女性用)	3	着
救助服上衣	18	着
救助服下衣	19	着
救急服(冬)上衣(男性用)	31	着
救急服(冬)下衣(男性用)	35	着
救急服(冬)上衣(女性用)	2	着
救急服(冬)下衣(女性用)	2	着
救急服(夏)上衣長袖(男性用)	17	着
救急服(夏)上衣半袖(男性用)	21	着
救急服(夏)下衣(男性用)	50	着
救急服(夏)上衣長袖(女性用)	1	着
救急服(夏)上衣半袖(女性用)	1	着
救急服(夏)下衣(女性用)	3	着
救急服用替襟	67	個
救急服用反射肩章	17	個
冬帽(男性用)	13	個
夏帽(男性用)	12	個
冬帽(女性用)	2	個
夏帽(女性用)	1	個
雨衣	30	着

ティーシャツ(長袖)	154	着
ティーシャツ(半袖)	223	着
スライドバックル式バンド(制服(冬)用)	23	個
スライドバックル式バンド(制服(夏)・活動服用)	33	個
ダブルピンバックル式バンド(活動服用)	38	個
ダブルピンバックル式バンド(救助服用)	16	個
バンド(革)	16	個
バンド(救急服用)	41	個
ワイシャツ	96	着
ブラウス	2	着
ネクタイ(男性用)	22	本
ネクタイ(女性用)	4	本
ネクタイピン	24	個

※点数貸与品の予定数量は過去3年の実績の平均値から算出

※発注予定数量は、過去の実績から見込んだ数であり、発注数を保証するものではありません。

消防吏員用被服類 概要規格等

制服（冬）上衣（男性用）
仕 様 書

草加八潮消防組合

仕様

1 型式

(1) ダブル型、2ッ掛6ッ釦、襟ステッチ入り、蛇腹付きとし、左腕部分に上衣と同系色の標示章用台座（別添概要図2）を縫い付ける。

(2) 材料

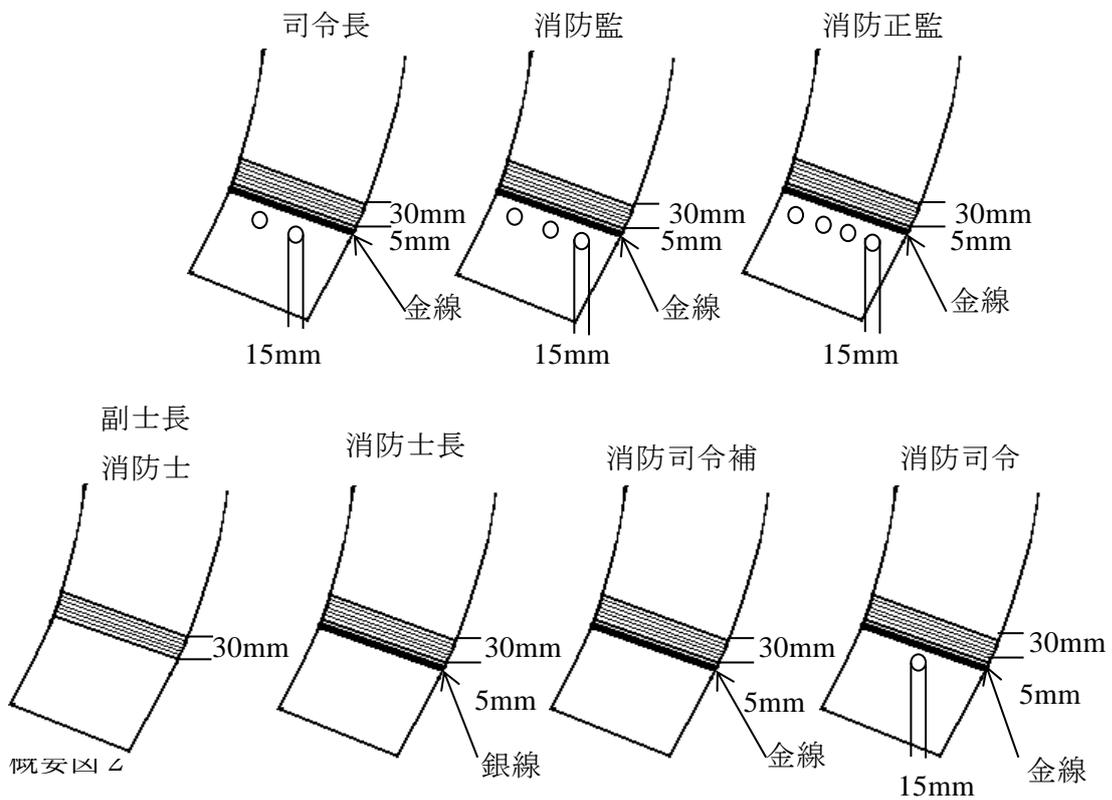
区分	仕様	用途
主材料	ニッケ（S8902C）C／#E紺 カシミアドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経 2／64×2／64 ウール 65% ポリエステル35%	表地
	東レ#303（抗菌・防臭・静電）C／#E濃紺	裏地
	4号スレキ綿100%	袋地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	特殊接着芯 ハスケル7661B増芯毛芯	フロント芯
	ハスケル768	襟芯
	AP16500	袖裏
	T230カラー紺 マーベルトラッセル入り	腰裏
	消防職員用き章入り金属製釦 径20mm	前釦
	樹脂4つ穴タライ釦 径14mm	内釦
	綿又は弾力性のある合繊	肩綿
マジックテープは、表地と同系色のものとする。		標示章用台座

(3) 縫製

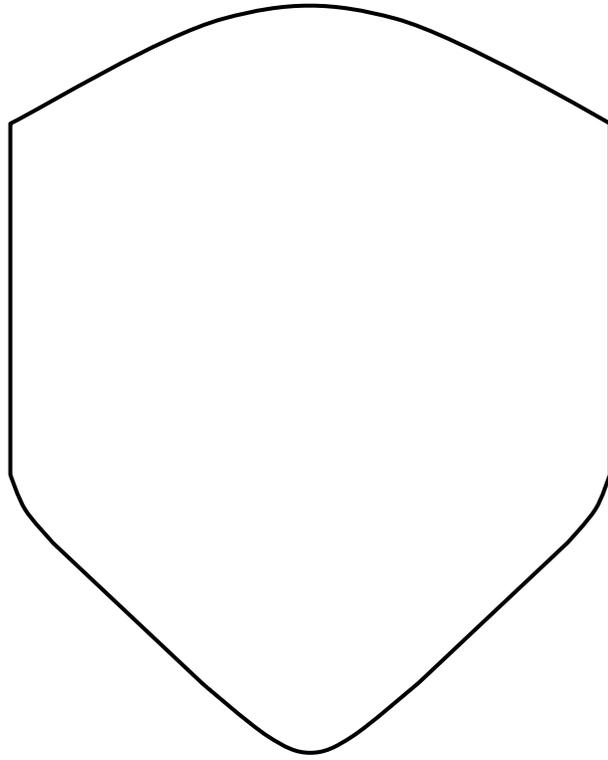
区分	要領
上衣	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。 地縫い 運針数 12針以上／3cm間 飾りステッチ 運針数 12針以上／3cm間 飾りステッチ幅は約0.5cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。 飾りステッチは表ミシンとすること。</p>

	<p>各部の合標、曲線は十分注意すること。</p> <p>アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。</p> <p>接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。</p> <p>台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。</p> <p>布目は正確にとること。</p>
襟	<p>上襟は、縫い倒しミシン割り縫いとすること。</p> <p>上襟は、山刺し12本、衿腰は30mm、襟の返りは40mmとすること。</p> <p>下襟は腰刺し7本以上とすること。</p> <p>左襟にバッジ穴を付けること。</p>
階級章台座	<p>右胸部に階級章用マジック台座（メス）を縫付けること。</p> <p>サイズは縦2.5cm×横4cmとすること。</p>
胸ポケット	<p>左胸部に1個付けること。</p> <p>内部見返しよりに手帳吊りループを付けること。</p> <p>口布の中25mm、口巾は115mm、深さ140mmとすること。</p> <p>ポケット位置裏に力布の中を広く当て地縫いすること。</p>
腰ポケット	<p>両玉縁雨蓋付きとすること。</p> <p>左右腰部にそれぞれ1個付けること。</p>
内ポケット	<p>左右内側胸部にそれぞれ1個付けること。</p> <p>両玉縁三角雨蓋付14mmハトメ穴とすること。</p> <p>口巾は140mm、深さ180mmとすること。</p>
袖	<p>割縫いし、上袖は130mmの袖芯を入れること。</p> <p>袖蛇腹は袖口より110mmのところにつけること。</p>
標示章用マジック台座	<p>別添概要図1の位置に標示章用マジック台座（別添概要図2）を縫い付けること。</p>
裾	<p>表地折り込みは40mm以上とすること。</p>
その他	<p>釦ホールはハトメ機械穴とすること。</p> <p>襟吊りは襟腰中央に付けること。</p> <p>品質表示票は片布の下に付けること。</p> <p>ダーツは胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割縫い、裏ダーツは片倒しとすること。</p> <p>記載されていない箇所については担当の指示によること。</p>

概要図 1



標示章用台座サイズ（実物大）



制服（冬）下衣（男性用）
仕 様 書

草加八潮消防組合

仕様

1 型式

長スラックス裾シングル型、腰部調整器具（アジャスター）付きとし、別添概要図のとおりとする。

(1) 材料

区分	仕様	用途
主材料	ニッケ（S8902C）C／＃E紺 カシミヤドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経 2／64×2／64 毛 65% ポリエステル35%	表地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	T230カラー紺	裏地
	入綿布	膝当地
	YKK製ファスナー	前立

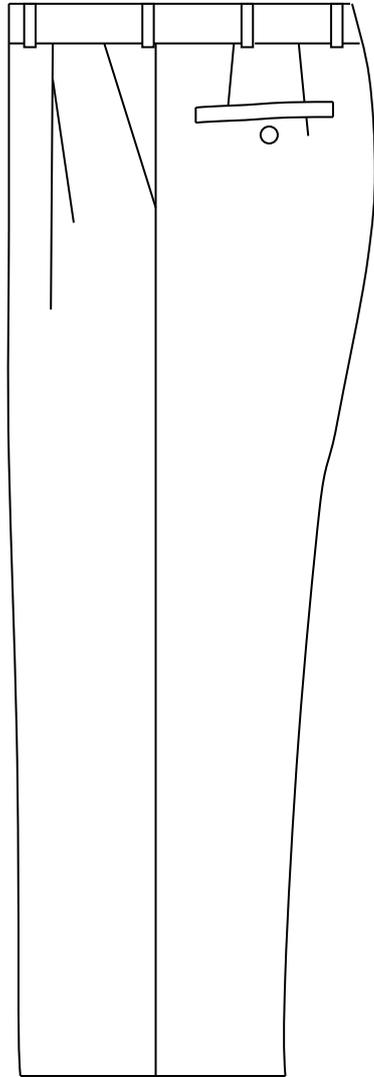
(2) 縫製

区分	要領
下衣	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。</p> <p>地縫い 運針数 12針以上／3cm間 飾りステッチ 運針数 12針以上／3cm間 飾りステッチ幅は約0.5cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。</p> <p>飾りステッチは表ミシンとすること。 各部の合標、曲線は十分注意すること。 アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。 接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。 台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。 布目は正確にとること。</p>

前身頃	<p>外向きで深さ約10mmのタックを左右に付けること。</p> <p>内股、脇及び天狗縫い付け部裾はオーバーロック掛けとすること。</p>
後身頃	<p>尻ポケットの中の中に2条のダーツを左右各1本とり片倒しとすること。</p> <p>内股、脇及び、尻はオーバーロック掛けとすること。</p>
前立 天狗	<p>前立てファスナー開きとし、持ち出し付きとすること。</p> <p>上部にカギホックを付けること。</p> <p>天狗に芯地布を付けること。</p> <p>棒シックは小又門より後身に70mm以上のシックを浮かし付けること。</p>
脇ポケット	<p>口巾150mmの斜め切り込みポケットを付けること。</p> <p>上部門の位置に巾80mm以上を袋地として縫い付けること。</p> <p>袋地底は地縫いをし、幅5mmの飾りステッチをすること。</p> <p>ポケット口上下を門止めとすること。</p> <p>右ポケット内側に小物ポケット入れを付けること。</p>
尻ポケット	<p>右後身上端より80mmの位置にポケットを付けること。</p> <p>袋地はポケット位置に張り、必ず腰飾り上部にかかるように縫い付けること。</p> <p>口巾140mmで片玉縁にて雨蓋付とし、雨蓋にハトメ穴釦ホールをかがること。</p> <p>ポケット両端は門止めとすること。</p>
腰部	<p>腰部調節器具（アジャスター）を付けること。</p> <p>腰帯は尻合わせ部分で割り縫いとすること。</p> <p>ラッセル入りマーベルトを使い帯下部の落としミシンでマーベルトを縫い付けること。</p> <p>マーベルトの尻合わせは割り縫いとすること。</p>
脇及び 内股縫い	<p>裁目はオーバーロック掛けし、1本針1本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとすること。</p>
尻縫い	<p>割り縫いとし、二重縫いとすること。</p> <p>上部で20mm以上の縫い代とすること。</p>
ベルトとおし	<p>上部より10mm下に巾8mm、長さ45mmのループ8本を付けること。</p>

膝当て	両端がほつれないよう縫い付けること。
裾	折り返しは50 mm以上とし、巾20 mm、丈150 mm以上の靴ズレを付けること。
片布サイズマーク 品質クロス	右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付けること。
ファスナー	ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること。
その他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図



制服（冬）上衣（女性用）
仕 様 書

草加八潮消防組合

仕様

1 概要

冬服上衣（女性用）は、別添概要図1のとおりとする。

2 上衣型式

(1) ダブル型、2ッ掛6ッ釦、襟ステッチ入り、蛇腹付きとし、左腕部分に上衣と同系色の標示章用台座（別添概要図1・2）を縫い付ける。

(2) 材料

区分	仕様	用途
主材料	ニッケ（S8902C）C／＃E紺 カシミヤドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経 2／64×2／64 毛 65% ポリエステル35%	表地
	東レ＃303（抗菌・防臭・静電）C／＃E濃紺	裏地
	4号スレキ綿100%	袋地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	特殊接着芯 ハスケル7661B増芯毛芯	フロント芯
	ハスケル768	襟芯
	AP16500	袖裏
	T230カラー紺 マーベルトラッセル入り	腰裏
	消防職員用き章入り金属製釦 径20mm	前釦
	樹脂4つ穴タライ釦 径14mm	内釦
	綿又は弾力性のある合繊	肩綿
マジックテープは、表地と同系色のもの	標示章用台座	

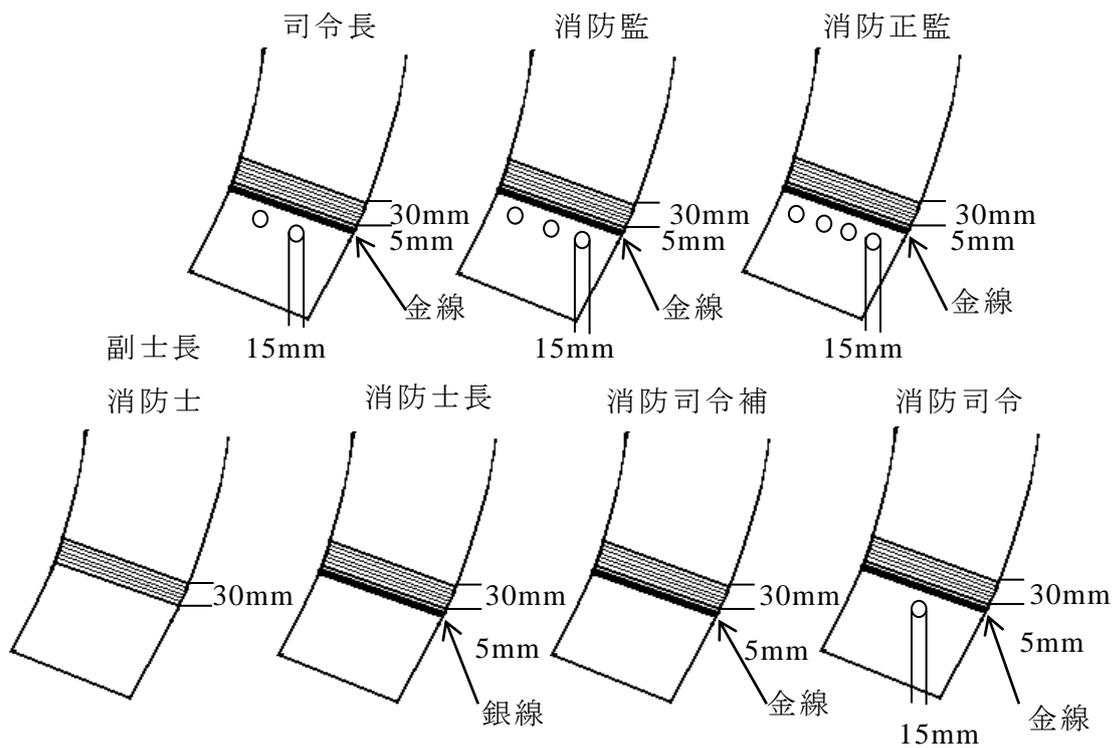
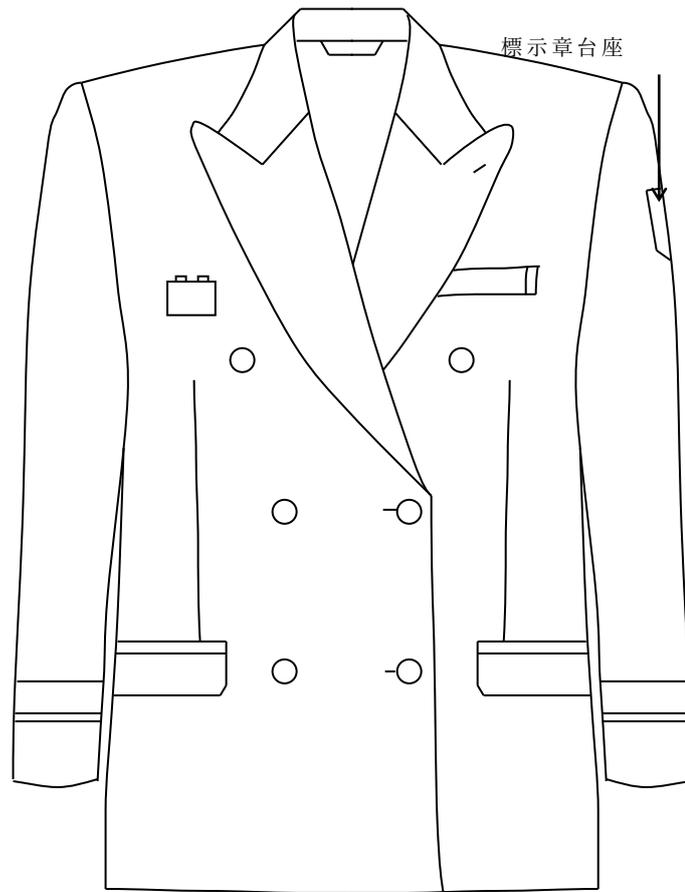
(3) 縫製

区分	要領
上衣	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。</p> <p>地縫い 運針数 12針以上／3cm間 飾りステッチ 運針数 12針以上／3cm間</p>

	<p>飾りステッチ幅は約0.5 cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。</p> <p>飾りステッチは表ミシンとすること。</p> <p>各部の合標、曲線は十分注意すること。</p> <p>アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。</p> <p>接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。</p> <p>台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。</p> <p>布目は正確にとること。</p>
襟	<p>上襟は、縫い倒しミシン割り縫いとすること。</p> <p>上襟は、山刺し12本、衿腰は30 mm、襟の返りは40 mmとすること。</p> <p>下襟は腰刺し7本以上とすること。</p> <p>左襟にバッジ穴を付けること。</p>
階級章台座	<p>右胸部に階級章用マジック台座（メス）を縫付けること。</p> <p>サイズは縦2.5 cm×横4 cmとすること。</p>
胸ポケット	<p>左胸部に1個付けること。</p> <p>内部見返しよりに手帳吊りループを付けること。</p> <p>口布の巾25 mm、口巾は115 mm、深さ140 mmとすること。</p> <p>ポケット位置裏に力布の巾を広く当て地縫いすること。</p>
腰ポケット	<p>両玉縁雨蓋付きとすること。</p> <p>左右腰部にそれぞれ1個付けること。</p>
内ポケット	<p>左右内側胸部にそれぞれ1個付けること。</p> <p>両玉縁三角雨蓋付14 mmハトメ穴とすること。</p> <p>口巾は140 mm、深さ180 mmとすること。</p>
袖	<p>割縫いし、上袖は130 mmの袖芯を入れること。</p> <p>袖蛇腹は袖口より110 mmのところにつけること。</p>
標示章用マジック台座	<p>別添概要図1の位置に標示章用マジック台座（別添概要図2）を縫い付けること。</p>
裾	<p>表地折り込みは40 mm以上とすること。</p>

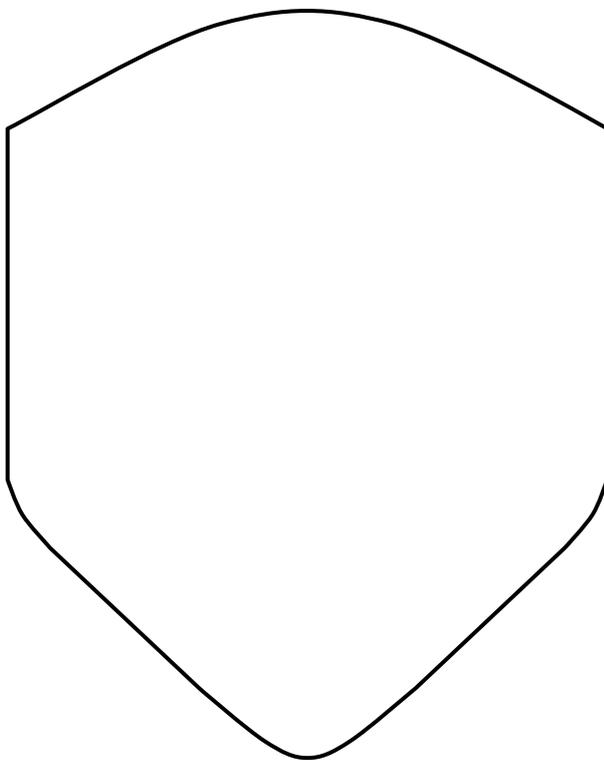
その他	<p>釦ホールはハトメ機械穴とすること。</p> <p>襟吊りは襟腰中央に付けること。</p> <p>品質表示票は片布の下に付けること。</p> <p>ダーツは胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割縫い、裏ダーツは片倒しとすること。</p> <p>女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。</p> <p>記載されていない箇所については担当の指示によること。</p>
-----	--

概要図 1



概要図 2

標示章用台座サイズ（実物大）



制服（冬）下衣（女性用ズボン）
仕 様 書

草加八潮消防組合

仕様

1 概要

冬服下衣（女性用ズボン）は、別添概要図のとおりとする。

2 下衣型式

長スラックス裾シングル型、腰部調整器具（アジャスター）付きとしとし、別添概要図のとおりとする。

(1) 材料

区分	仕様	用途
主材料	ニッケ（S 8 9 0 2 C）C / # E 紺 カシミアドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経 2 / 6 4 × 2 / 6 4 毛 6 5 % ポリエステル 3 5 %	表地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	T 2 3 0 カラー紺	裏地
	入綿布	膝当地
	Y K K 製ファスナー	前立

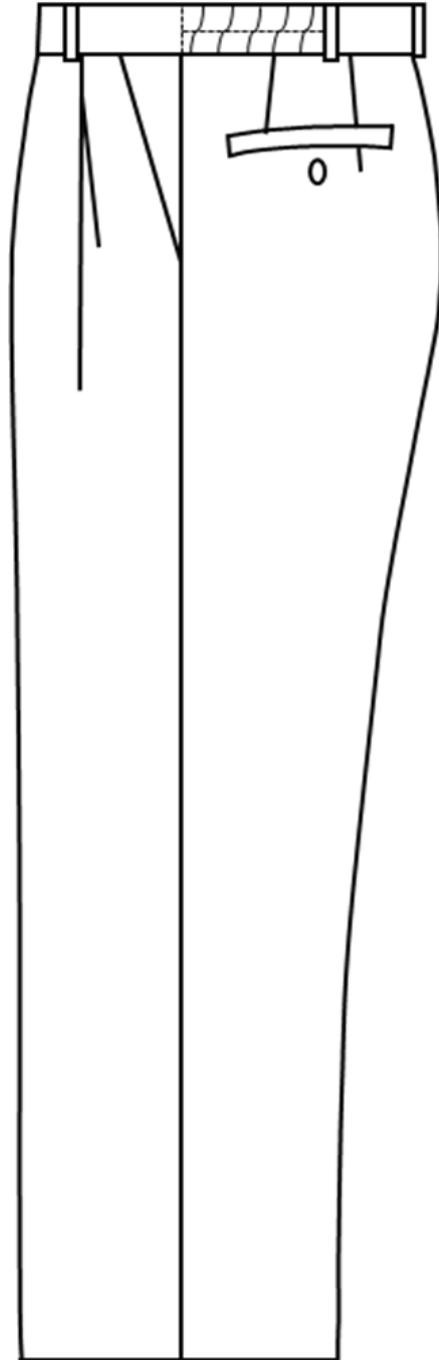
(2) 縫製

区分	要領
下衣	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。</p> <p>縫い目の飛び、外れがないこと。</p> <p>糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。</p> <p>縫い目数は指定どおりにすること。</p> <p>地縫い 運針数 1 2 針以上 / 3 cm間</p> <p>飾りステッチ 運針数 1 2 針以上 / 3 cm間</p> <p>飾りステッチ幅は約 0. 5 cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。</p> <p>飾りステッチは表ミシンとすること。</p> <p>各部の合標、曲線は十分注意すること。</p> <p>アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。</p> <p>接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。</p> <p>台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。</p>

	布目は正確にとること。
前身頃	外向きで深さ約10mmのタックを左右に付けること。 内股、脇及び天狗縫い付け部裾はオーバーロック掛けとすること。
後身頃	尻ポケットの中の中に2条のダーツを左右各1本とり片倒しとすること。 内股、脇及び、尻はオーバーロック掛けとすること。
前立 天狗	前立てファスナー開きとし、持ち出し付きとすること。 上部にカギホックを付けること。 天狗に芯地布を付けること。 棒シックは小又門より後身に70mm以上のシックを浮かし付けること。
脇ポケット	口巾150mmの斜め切り込みポケットを付けること。 上部門の位置に巾80mm以上を袋地として縫い付けること。 袋地底は地縫いをし、幅5mmの飾りステッチをすること。 ポケット口上下を門止めとすること。 右ポケット内側に小物ポケット入れを付けること。
尻ポケット	右後身上端より80mmの位置にポケットを付けること。 袋地はポケット位置に張り、必ず腰飾り上部にかかるように縫い付けること。 口巾140mmで片玉縁にて雨蓋付とし、雨蓋にハトメ穴釦ホールをかがること。 ポケット両端は門止めとすること。
腰	腰部調節器具（アジャスター）を付けること。 腰帯は尻合わせ部分で割り縫いとすること。 ラッセル入りマーベルトを使い帯下部の落としミシンでマーベルトを縫い付けること。 マーベルトの尻合わせは割り縫いとすること。
脇及び 内股縫い	裁目はオーバーロック掛けし、1本針1本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとすること。
尻縫い	割り縫いとし、二重縫いとすること。 上部で20mm以上の縫い代とすること。
ベルト とおし	上部より10mm下に巾8mm長さ45mmのループ8本を付けること。
膝当て	両端がほつれないよう縫い付けること。

裾	折り返しは50mm以上とし、巾20mm丈150mm以上の靴ズレを付けること。
片布サイズマーク 品質クロス	右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付けること。
ファスナー	ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること。
その他	女性用の打ち合わせは右上前とすること。 記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図



制服（夏）仕様書
（上衣長袖・上衣半袖・下衣）

草加八潮消防局

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用制服（夏）上衣及び下衣について定める。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別、長袖及び半袖の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

仕様

1 総則

- (1) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (2) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (3) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿等に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- (4) 納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。
- (6) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）
- (7) 打ち合わせについては、上衣（長袖・半袖）及びズボンともに、男性用は左上前とし、女性用は右上前とすること。

2 形式（S R立体型裁断）

(1) 上衣

カッター衿、衿台、長袖はカフス裏（配色）、肩章付、前立5個釦（15mm）、左右胸ポケット雨蓋付、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能

(2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部ハギ入り、ベルトループ8本付、左右後部ポケット、左ボタン止め、裾ミシンたたき

3 主材料

(1) 上衣

ア 品 番 : < G F S 9 > シャンブレー

イ 混紡率 : 毛 30%
ポリエステル 69%
導電性繊維 1%以内
(導電性繊維混入)

ウ 色 相 : C / # 青淡色 (指定色)

(2) 下衣

ア 品 番 : < K Y 3 5 9 > エコストレッチトロピカル

イ 混紡率 : ウール 20.0%
再生ポリエステル 79.5%
制電性繊維 0.5%

ウ 色 相 : C / # 花紺 (指定色)

4 縫製条件

(1) 針数

3 c m間で地縫いは11針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴・ズボンはハトメ穴とする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

5 縫製要領

(1) 上衣

ア 主衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で4.5 c m、衿先巾8.5 c mとする。

衿台の内側に配色としてズボン生地を使用する。

イ 前立て

前立ては表ガク付きとし、直径15 m mのサックス系釦を5個付け、上前部は巾4 c mとし、下前部は巾3 c mにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

ウ 衿吊

衿吊は所定のを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨蓋付とする。雨蓋には所定のテトロン芯を入れる。

雨蓋は巾中央で高さ6cm（端部で高さ4.5cm）横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ15.5cm、インダーツとする。

雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可とする。）

オ ペン刺し

左胸ポケット雨蓋の中心部から2.0cm内側に入った所に巾2.5cmのペン差しをつける。

カ エンブレム台

左袖に袖付けより8cm下に、当局指定のエンブレム取り付け用面ファスナーを縫い付ける。

キ 背ヨーク

背ヨークは1枚仕立とし、ヨーク巾は中央で7.0cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ク 肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ケ 脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において上衣がずり上がらない構造とする。

コ 背タック

なしとする。

サ ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部にベンチレーション機能を設けること。

シ 袖

2枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、飾りステッチをかける。

ス 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。（インターロックミシンは可とする。）

セ 袖口

長袖は後袖切り替え線上の袖口にあきを設け、釦2個を付ける。

カフス裏には配色としてズボン生地を使用する。

半袖の袖口はミシンたたきとする。

ソ 片布・品質表示

所定の上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

タ サイズネーム

衿付中央の下縁に、はさみ縫い付ける。

チ 階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部1.5cm上に縦2.5cm、横4.0cmのマジックテープ（メス）を縫い付ける。

ツ 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫込み、4.0cm内側に入ってクロスステッチを入れること。肩章の先は衿付根部より1.5cm下がった位置とする。

テ 裾折り返し

裾は三ツ折り縫いとする。

(2) 下衣

ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 腰帯

腰帯幅は4cmとし、腰裏にはすべり止め付き腰裏を縫い付ける。

ウ 前立て

上前の前立てに芯を貼り、約3.5cm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、冑止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

エ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ16.5cmとし、口の上下端に冑止めをする。口にはコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

オ 後部

後中心の尻縫いは片倒しし、飾ステッチをかける。裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。なお、強度を確保するため、片倒しステッチ縫製とする。

カ 後ポケット

左右後に口幅14.0cm、深さ17.5cmの片玉切りポケットを各1個付け、左側のポケットは釦止めとする。なお、口の両端は門止めをする。

キ ベルトループ

ベルトループ幅10mm、長さ55mmのものを全体で8本、後中心は2本付ける。

ク シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため四箇所縫い止める。

ケ 裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

コ 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ 内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、股割動作における突っ張りを緩和する伸縮構造とすること。

シ サイズ表示・品質表示

片布下端に挟むこと。

ス 片布

左脇ポケット袋布に縫着すること。

上 衣

(出来上がり寸法) (単位：c m)

	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈	ネック
A 3 S	7 2	9 5	4 2	1 9	3 6
A S S	7 2	1 0 0	4 3	2 0	3 6
A S	7 2	1 0 5	4 4	2 1	3 7
A M	7 5	1 1 0	4 6	2 2	3 8
A L	7 8	1 1 5	4 8	2 3	3 9
A L L	8 1	1 1 9	4 9	2 4	4 0
A 3 L	8 4	1 2 3	5 1	2 5	4 2
A 4 L	8 6	1 2 9	5 3	2 5	4 5
B S	7 2	1 1 3	4 7	2 1	3 8
B M	7 5	1 1 9	4 9	2 2	4 0
B L	7 8	1 2 5	5 1	2 3	4 2
B L L	8 1	1 2 9	5 3	2 4	4 5
B 3 L	8 4	1 3 3	5 6	2 5	4 7
B 4 L	8 4	1 4 1	5 8	2 5	4 9
B 5 L	8 4	1 5 1	6 0	2 5	5 1

下 衣

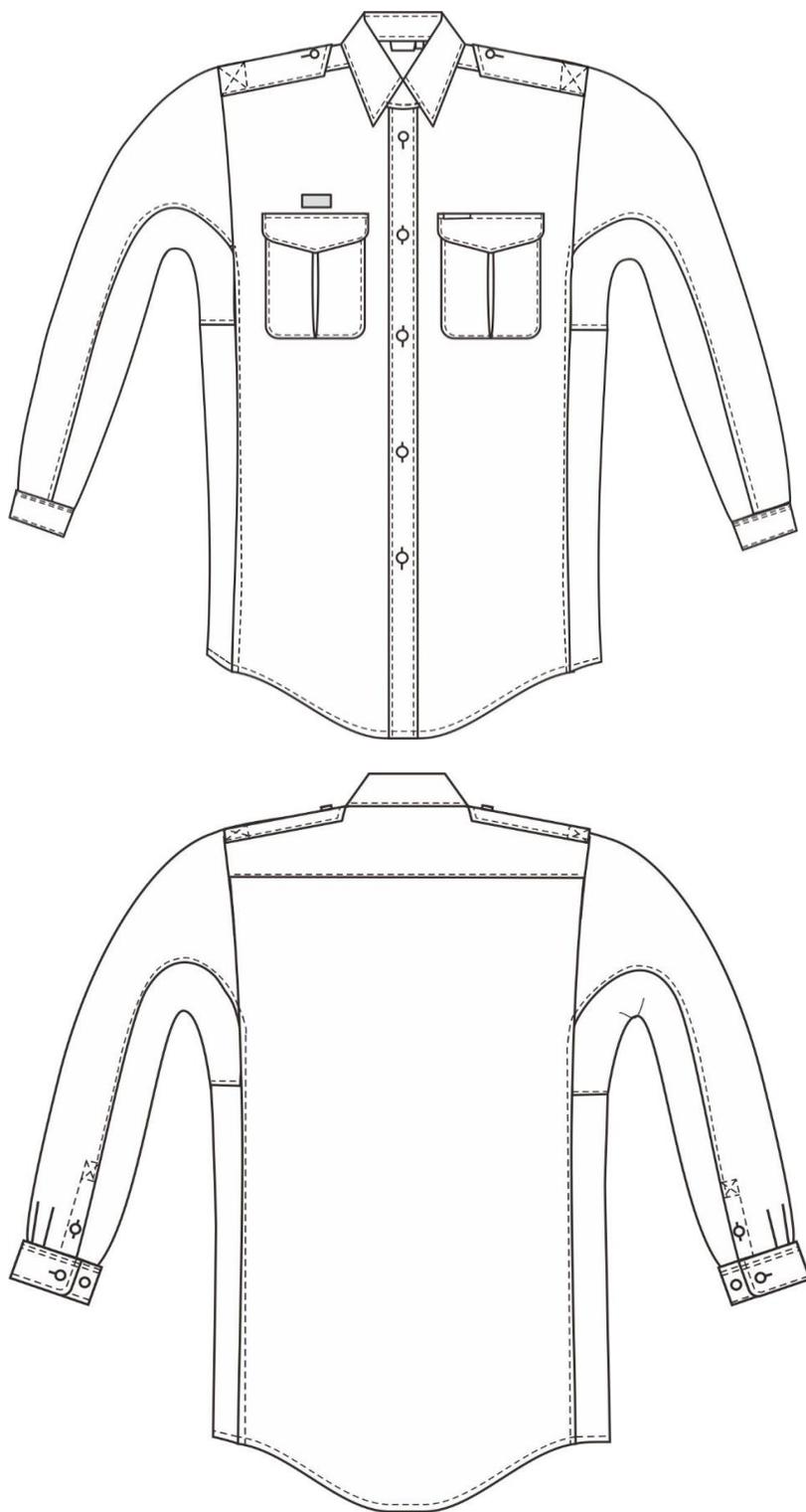
(出来上がり寸法) (単位：c m)

サイズ	ウエスト	ワタリ巾	サイズ	ウエスト	ワタリ巾
A 0 0 0	6 1	3 1	W 1 1 5	1 1 5	4 2
A 0 0	6 4	3 2	W 1 2 0	1 2 0	4 3
A 0	6 7	3 3	W 1 2 5	1 2 5	4 4
A 1	7 0	3 4	W 1 3 0	1 3 0	4 5. 5
A 2	7 3	3 4	W 1 4 0	1 4 0	4 7. 5
A 3	7 6	3 4			
A 4	7 9	3 4. 5			
A 5	8 2	3 5			
A 6	8 5	3 5. 5			
A 7	8 8	3 6			
B 2	9 1	3 7			

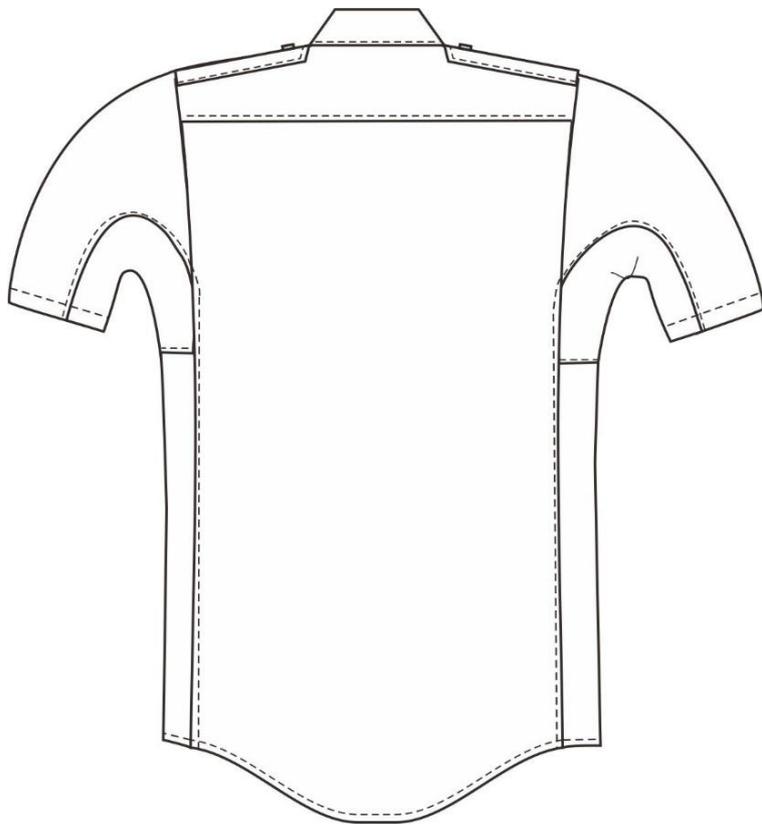
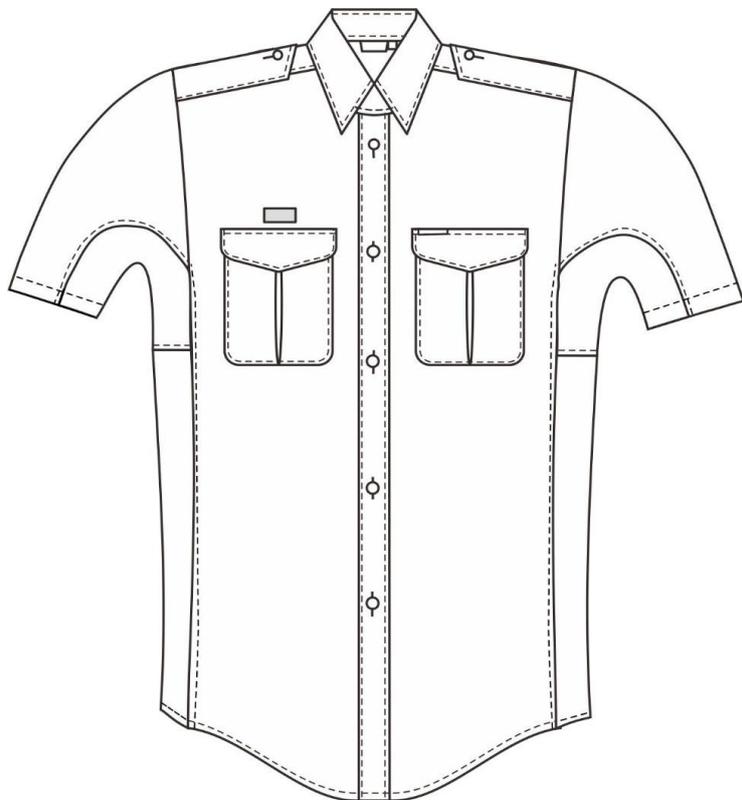
B 3	9 5	3 7 . 5			
B 4	1 0 0	3 8 . 5			
B 5	1 0 5	3 9 . 5			
B 6	1 1 0	4 0 . 5			

概要図

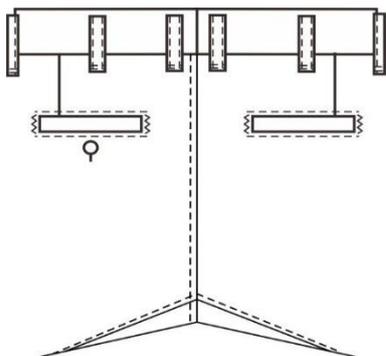
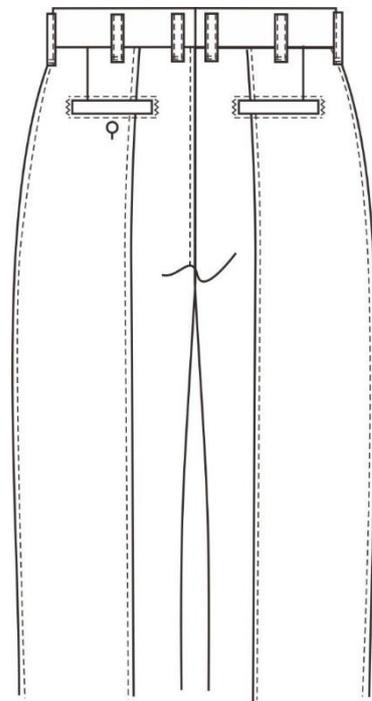
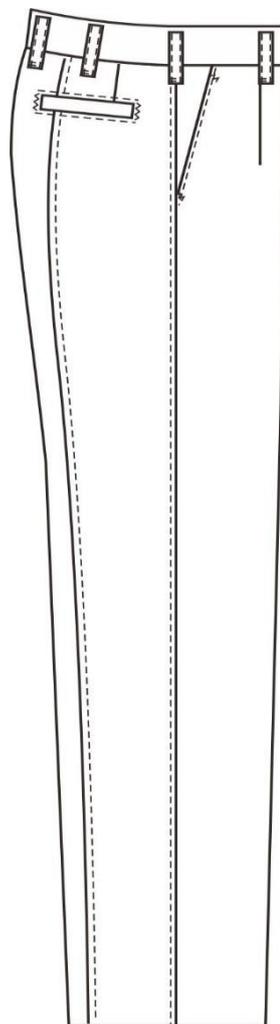
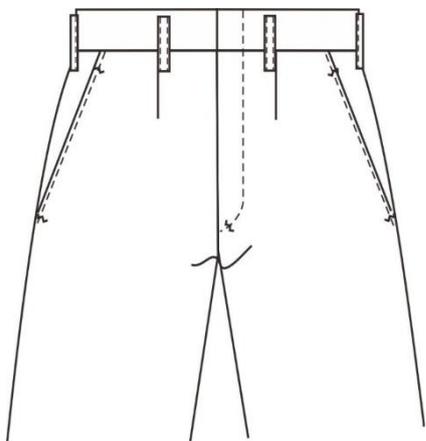
1 上衣長袖



2 上衣半袖



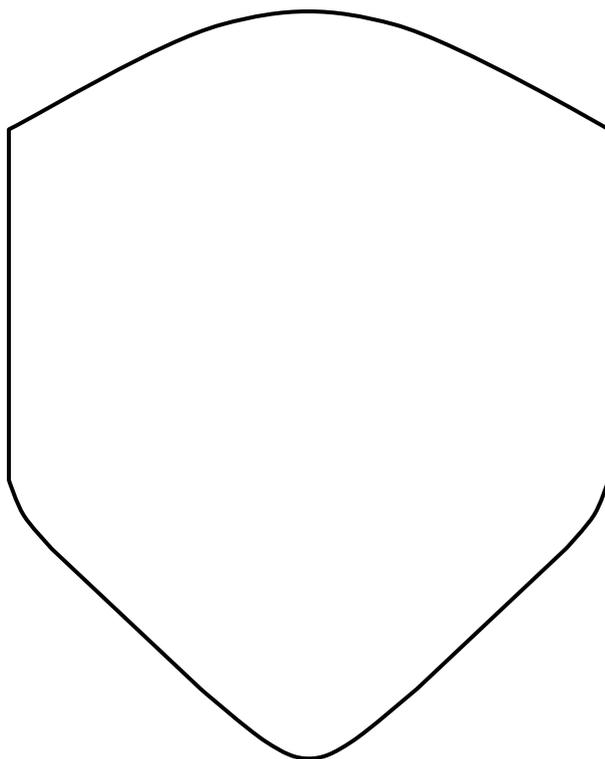
3 下衣



参考

標示章（エンブレム）用台座サイズ【実物大】

縦 10 cm × 横 8 cm 程度



活動服（冬）
仕 様 書

草加八潮消防局

この仕様書は、草加八潮消防局が購入する消防吏員用活動服（冬）について定めたものである。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

仕様

1 使用材料

(1) 生地一般

ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

(2) 主材料

ア 表生地

3 6 0 1 C / # 紺 制電・難燃サージ

メタアラミド 75% パラアラミド 5% ポリエステル 20%

イ 表生地

3 6 0 2 C / # オレンジ 制電・難燃サージ

メタアラミド 67% パラアラミド 3% ポリエステル 20%

難燃レーヨン 10%

(3) 補助材料

項目	規格	使用箇所
芯地	ポリエステル65% 綿35%平織り	1. 上襟 2. 襟腰 3. カフス
芯地	ポリエステル100% 平織り接着芯	1. 腰帯
釦	15m/m	1. 前立て第一釦 2. 左尻ポケット
	20m/m	1. 脇貼りポケットループ止め用
面テープ	ネイビー	1. 階級章台 2. 胸ポケット 3. 前身 4. 脇貼りポケット雨蓋部
袋地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 クリーム	1. ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 濃紺	1. 腰帯 (マーベルト)
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	1. 前立 (上衣) 2. 袖口
ファスナー	YKK製 ミトラ3番	1. 前立て (下衣)
縫製糸	アラミド50番 ブルー	1. 地縫い 2. ステッチ

縫製糸	アラミド40番 オレンジ	1. 地縫い
縫製糸	ポリエステル100% 90番	1. オーバーロック
縫製糸	ポリエステル100% 50番	1. 袋地

2 形状

- (1) 上下共に、立体裁断による縫製とする。
- (2) 上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。

両胸に、雨蓋付左右アウトポケット、左袖にペンポケット付きとする。

- (3) 下衣は長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きワンタックとする。

左右雨蓋なし貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

3 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- (2) 縫い目の飛び、外れがないこと。
- (3) 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。

- (4) 縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数 12針以上／3cm間

飾りステッチ運針数 12針以上／3cm間

- (5) 飾りステッチ幅は約0.5cmでポケット袋部分等は端ミシンすること。
- (6) 飾りステッチは表ミシンとすること。
- (7) 各部の合標、曲線は十分注意すること。
- (8) 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- (9) 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。
- (10) 布地の目は正確に取ること。

4 上衣

(1) 襟

ア 上襟は縦地に使い、剣の長さは約8cmとし、背中心で約4.5cm（標準）とする。表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチの約0.5cm台襟上部は端ミシンとする。

イ 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しして飾りステッチをする。

ウ 台襟は背中心で幅約3.5cmとし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は2条縫いとする。下部の1条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に織マークとサイズマークを挟み縫いする。

エ 上襟表衿一部は1使用材料(2)主材料イ表生地 オレンジとする。

(2) 前身頃

ア 前合せの開閉はファスナー式とする。

イ 身頃と見返しを地縫い返しをして1条の幅0.5cmの飾りステッチをする。上前裏は前端より約4cm奥に2条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟み縫いする。

ウ 下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しして一条の幅約0.5cmの飾りステッチとする。

エ 上前にA面、下前にB面(幅約20m/m、長さ30m/m)の面テープを台襟下部より3箇所縫い付ける。(標準)

(3) 胸ポケット

ア 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを2個付ける。

イ ポケットは端ミシンで縫いつける。

ウ ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

エ ポケット上部の二つ折りは内側に約2cmとし、約1.5cmで飾りステッチとする。

オ ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。

カ ポケット中央に面テープB面(幅約20m/m、長さ30m/m)を付ける。

キ 雨蓋は別図の型とし裏面に面テープAを付け、地縫い返しをし幅約0.5cmの飾りステッチとする。

ク 左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。

ケ ポケット挿みヒダ及び雨蓋裏は1使用材料(2)主材料イ表生地 オレンジとする。

(4) 後身頃、背ヨーク

ア ヨークは一枚物V字型でヨーク下部後身頃の上端裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しして幅約0.5cmの飾りステッチをする。

イ ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。

ウ ヨークは1使用材料(2)主材料イ表生地 オレンジとする。

エ 背ヨーク部の上段中央に『草加八潮消防局』、下段に『SAITAMA』の文字を紺色(指定色)で刺繍する。

字体・大きさは消防局の指示通りとする。

オ 脇身頃は2枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅0.5cmの飾りステッチとする。

(5) 袖及びカフス

- ア 袖は4枚ハギとし、地縫い片倒し幅約0.5cmの飾りステッチとする。
- イ 上袖縫い目先端に袖口から約17cmまで16cmのファスナーを表から1条ミシン縫いする。
- ウ 開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。
- エ カフスは接着芯を貼り地縫い返しし、幅約0.5cmの飾りステッチをする。
- オ 袖口はひだをとらずカフスに挟み縫いをし、幅約0.5cmの飾りステッチをする。

(6) 袖付け

- インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約0.5cmの飾りステッチをする。

(7) 脇縫い及び袖底縫い

- 前身頃、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。

脇身頃袖下下部にベンチレーション機能を設ける。

(8) 裾縫い

- 前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約2cmの三つ折りアロハタイプとする。

(9)片布

- 左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

(10) 名札

- 活動服の左胸に名札(ネームワッペン)を取り付けるための台座マジック(ブルー)を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添のとおりとする。

5 下衣

(1) 前身頃

- ア 外向き深さ前側約2cm、脇側約1.5cmのタックを左右各1本とる。
- イ 前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

(2) 後身頃

- ア 腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。
- イ 尻と裾はオーバーロック掛けとする。

(3) 前立・天狗

- ア 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをして幅約3.5cmの飾りステッチとする。

イ 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをして前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ シックは天狗裏スレーキの続きに、股縫い合わせ部の四箇所を止め、股部の補強をする。

オ 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

(4) 脇貼りポケット

ア 脇縫い中央で帯下部より20cm下りに張りポケットを縫い付ける。

イ 雨ブタなしの貼り付けアウトポケットはファスナー止めとし、縦約20cm、横約17cmで風きん幅約4cmの二方風きんとする。

ウ 風きんは底と後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約3cmまでは直接身頃に縫い付ける。

エ ポケット布は四方にオーバーロックを掛け、ポケット口は約3cmで二つ折りをし、幅約2.5cmの飾りステッチをする。

オ ポケット上部は2箇所かんぬき止めをする。

カ 後方風きんはたたんでポケット口より約3cmまで直接身頃に縫い付ける。

(5) 尻ポケット

ア ポケット口幅約13.5cm、深さ約17cmを左右に付ける。

イ ポケット口は芯入り片玉縁とする。

ウ 左ポケットのみ釦止めとする。

エ ポケット両端はかんぬき止めとする。

オ ポケット口向当ては4cm以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。

カ 袋地は左右を地縫いして回りを幅約0.5cmの飾りステッチとする。

キ 袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

(6) 帯付け

ア 仕上がり幅3.5cmで3.3cmの接着芯を全面に接着する。

イ 腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。

ウ ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫い付ける。

エ マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。

オ 左右の帯の先端に前かんを付ける。

(7) 脇、及び内股立体構造

内股部には菱形のハギを入れ活動時において負荷がかかりにくい構造とし、

脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約0.5cmの飾りステッチをする。

(8) 尻縫い

ア 縫い代は上部で約3cm、下部で約1cmとする。

イ 裁ち目はオーバーロック掛けし、2本針、4本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

(9) ベルト通し

ア 幅約2.4cm、高さ約6cm（有効長さ約5.5cm）を後中央2箇所、左右3箇所の合計8箇所付けとする。

イ 上部から約0.5cm下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

(10) 片布サイズマーク及び品質クロス

左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

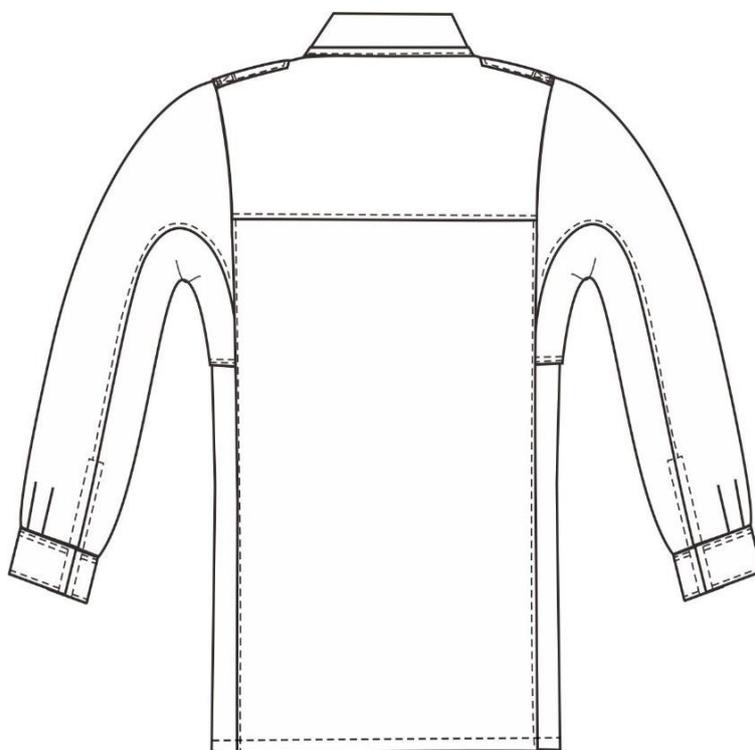
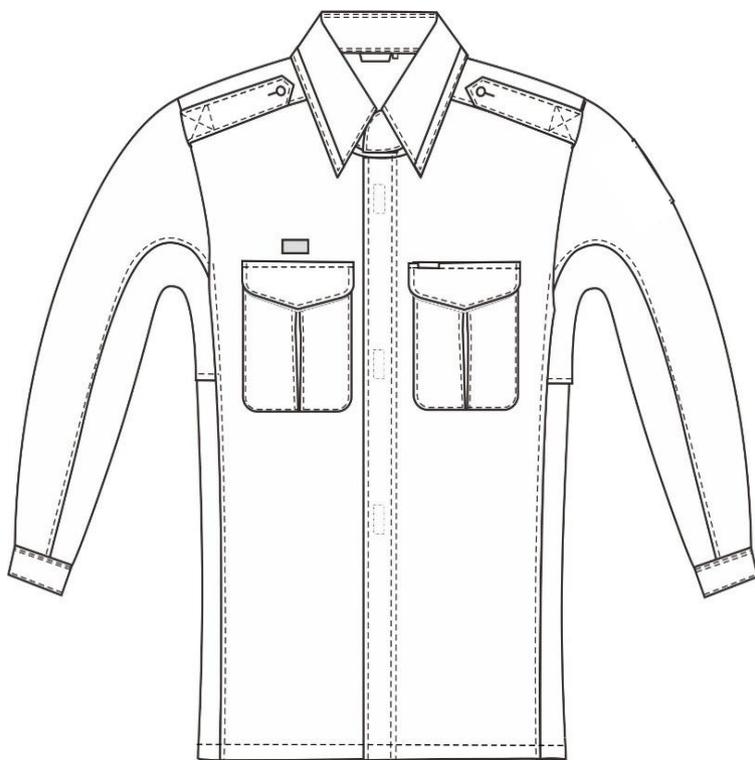
6 その他

(1) 女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。

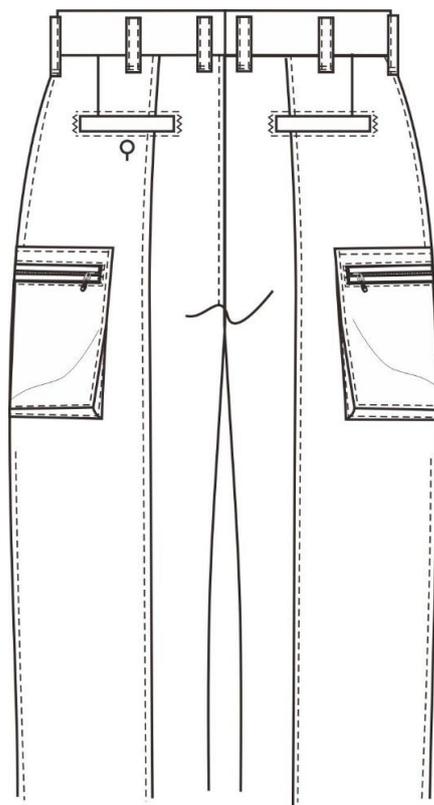
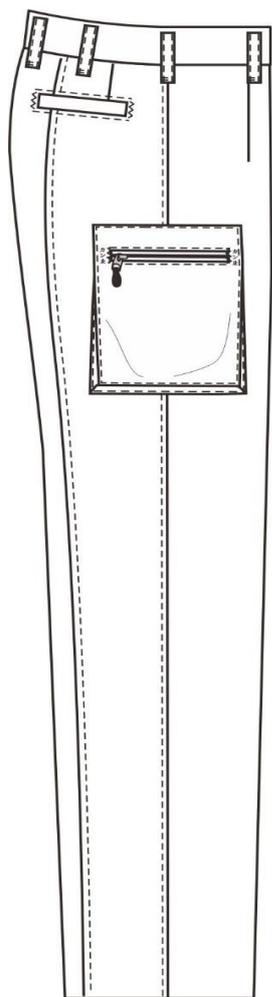
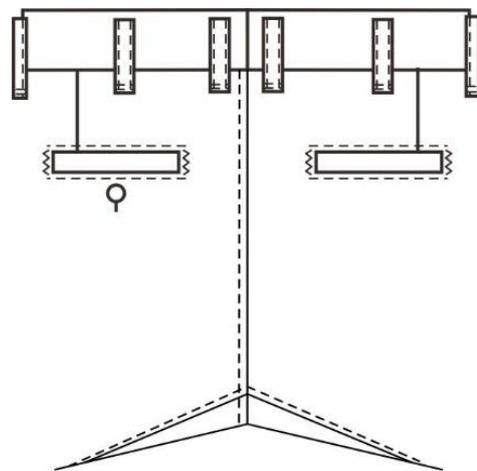
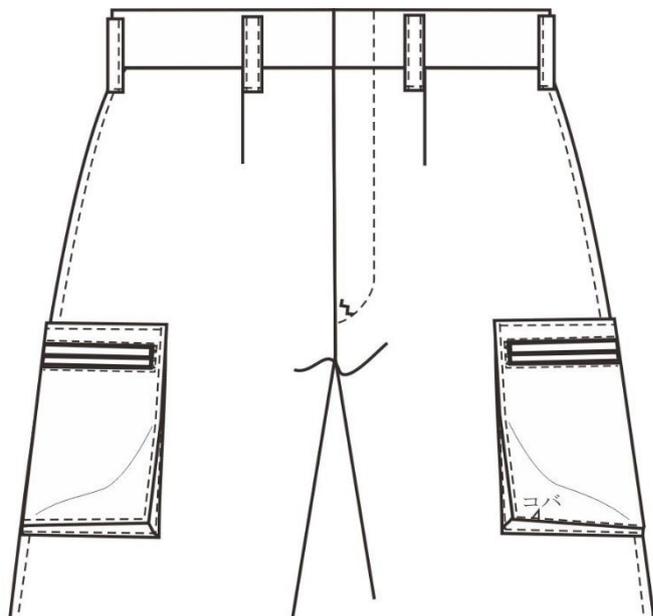
(2) 記載されていない箇所については、担当の指示によること。

概要図

上衣



下衣



活動服（夏）
仕 様 書

草加八潮消防局

この仕様書は、草加八潮消防局が購入する消防吏員用活動服（夏）について定めたものである。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、別添概要図のとおりとする。

仕様

1 使用材料

(1) 生地一般

ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

(2) 主材料

ア 表生地

#4001 C/# 紺 制電・難燃トロピカル

メタアラミド 75% パラアラミド 5% ポリエステル 20%

イ 表生地

#4002 C/# オレンジ 制電・難燃トロピカル

メタアラミド 67% パラアラミド 3% ポリエステル 20%

難燃レーヨン 10%

(3) 補助材料

項目	規格	使用箇所
芯地	ポリエステル65% 綿35%平織り	1. 上襟 2. 襟腰 3. カフス
芯地	ポリエステル100% 平織り接着芯	1. 腰帯
釦	15m/m	1. 前立て第一釦 2. 左尻ポケット
	20m/m	1. 脇貼りポケットループ止め用
面テープ	ネイビー	1. 階級章台 2. 胸ポケット 3. 前身 4. 脇貼りポケット雨蓋部
袋地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 クリーム	1. ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 濃紺	1. 腰帯 (マーベルト)
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	1. 前立 (上衣) 2. 袖口
ファスナー	YKK製 ミトラ3番	1. 前立て (下衣)
縫製糸	アラミド50番 ブルー	1. 地縫い 2. ステッチ

縫製糸	アラミド40番 オレンジ	1. 地縫い
縫製糸	ポリエステル100% 90番	1. オーバーロック
縫製糸	ポリエステル100% 50番	1. 袋地

2 形状

- (1) 上下共に、立体裁断による縫製とする。
- (2) 上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。

両胸に、雨蓋付左右アウトポケット、左袖にペンポケット付きとする。

- (3) ズボンは長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きワンタックとする。

左右雨蓋なし貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

3 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- (2) 縫い目の飛び、外れがないこと。
- (3) 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。
- (4) 縫い目数は指定通りにすること。
地縫い運針数 12針以上／3cm間
飾りステッチ運針数 12針以上／3cm間
- (5) 飾りステッチ幅は約0.5cmでポケット袋部分等は端ミシンすること。
- (6) 飾りステッチは表ミシンとすること。
- (7) 各部の合標、曲線は十分注意すること。
- (8) 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- (9) 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。
- (10) 布地の目は正確に取ること。

4 上衣

(1) 襟

ア 上襟は縦地に使い、剣の長さは約8cmとし、背中心で約4.5cm(標準)とする。表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチの約0.5cm台襟上部は端ミシンとする。

イ 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しして飾りステッチをする。

ウ 台襟は背中心で幅約3.5cmとし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は2条縫いとする。下部の1条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に織マークとサイズマークを挟み縫いする。

エ 上襟表衿一部は1使用材料(2)主材料イ表生地のおレンジとする。

(2) 前身頃

ア 前合せの開閉はファスナー式とする。

イ 身頃と見返しを地縫い返しして1条の幅0.5cmの飾りステッチをする。上前裏は前端より約4cm奥に2条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟み縫いする。

ウ 下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しして一条の幅約0.5cmの飾りステッチとする。

エ 上前にA面、下前にB面(幅約20m/m、長さ30m/m)の面テープを台襟下部より3箇所縫い付ける。(標準)

(3) 胸ポケット

ア 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを2個付ける。

イ ポケットは端ミシンで縫いつける。

ウ ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

エ ポケット上部の二つ折りは内側に約2cmとし、約1.5cmで飾りステッチとする。

オ ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。

カ ポケット中央に面テープB面(幅約20m/m、長さ30m/m)を付ける。

キ 雨蓋は別図の型とし裏面に面テープAを付け、地縫い返しして幅約0.5cmの飾りステッチとする。

ク 左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。

ケ ポケット挿みヒダ及び雨蓋裏は1使用材料(2)主材料イ表生地のおレンジとする。

(4) 後身頃、背ヨーク

ア ヨークは一枚物V字型でヨーク下部後身頃の上部裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しして幅約0.5cmの飾りステッチをする。

イ ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。

ウ ヨークは1使用材料(2)主材料イ表生地のおレンジとする。

エ 背ヨーク部の上段中央に『草加八潮消防局』、下段に『SAITAMA』の文字を紺色(指定色)で刺繍する。

字体・大きさは消防局の指示通りとする。

オ 脇身頃は2枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅0.5cmの飾りステッチとする。

(5) 袖及びカフス

- ア 袖は4枚ハギとし、地縫い片倒し幅約0.5cmの飾りステッチとする。
- イ 上袖縫い目先端に袖口から約17cmまで16cmのファスナーを表から1条ミシン縫いする。
- ウ 開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。
- エ カフスは接着芯を貼り地縫い返しし、幅約0.5cmの飾りステッチをする。
- オ 袖口はひだをとらずカフスに挟み縫いをし、幅約0.5cmの飾りステッチをする。

(6) 袖付け

- インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約0.5cmの飾りステッチをする。

(7) 脇縫い及び袖底縫い

- 前身頃、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。
- 脇身頃袖下下部にベンチレーション機能を設ける。

(8) 裾縫い

- 前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約2cmの三つ折りアロハタイプとする。

(9) 片布

- 左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

(10) 名札

- 活動服の左胸に名札（ネームワッペン）を取り付けるための台座マジック（ブルー）を縫い付ける。
- なお、名札の仕様については別添のとおりとする。

5 下衣

(1) 前身頃

- ア 外向き深さ前側約2cm、脇側約1.5cmのタックを左右各1本とる。
- イ 前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

(2) 後身頃

- ア 腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。
- イ 尻と裾はオーバーロック掛けとする。

(3) 前立・天狗

- ア 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをして幅約3.5cmの飾りステッチとする。

イ 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをして前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ シックは天狗裏スレーキの続きに、股縫い合わせ部の4箇所を止め、股部の補強をする。

オ 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

(4) 脇貼りポケット

ア 脇縫い中央で帯下部より20cm下りに張りポケットを縫い付ける。

イ 雨ブタなしの貼り付けアウトポケットはファスナー止めとし、縦約20cm、横約17cmで風きん幅約4cmの三方風きんとする。

ウ 風きんは底と前・後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約3cmまでは直接身頃に縫い付ける。

エ ポケット布は四方にオーバーロックを掛け、ポケット口は約3cmで二つ折りをし、幅約2.5cmの飾りステッチをする。

オ ポケット上部は2箇所かんぬき止めをする。

カ 後方風きんはたたんでポケット口より約3cmまで直接身頃に縫い付ける。

(5) 尻ポケット

ア ポケット口幅約13.5cm、深さ約17cmを左右に付ける。

イ ポケット口は芯入り片玉縁とする。

ウ 左ポケットのみ釦止めとする。

エ ポケット両端はかんぬき止めとする。

オ ポケット口向当ては4cm以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。

カ 袋地は左右を地縫いして回りを幅約0.5cmの飾りステッチとする。

キ 袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

(6) 帯付け

ア 仕上がり幅3.5cmで3.3cmの接着芯を全面に接着する。

イ 腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。

ウ ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫い付ける。

エ マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。

オ 左右の帯の先端に前かんを付ける。

(7) 脇、及び内股立体構造

内股部には菱形のハギを入れ活動時において負荷がかかりにくい構造とし、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約0.5cmの飾りステッチをする。

(8) 尻縫い

ア 縫い代は上部で約3cm、下部で約1cmとする。

イ 裁ち目はオーバーロック掛けし、2本針、4本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

(9) ベルト通し

ア 幅約2.4cm、高さ約6cm（有効長さ約5.5cm）を後中央2箇所左右3箇所の合計8箇所付けとする。

イ 上部から約0.5cm下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

(10) 片布サイズマーク及び品質クロス

左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

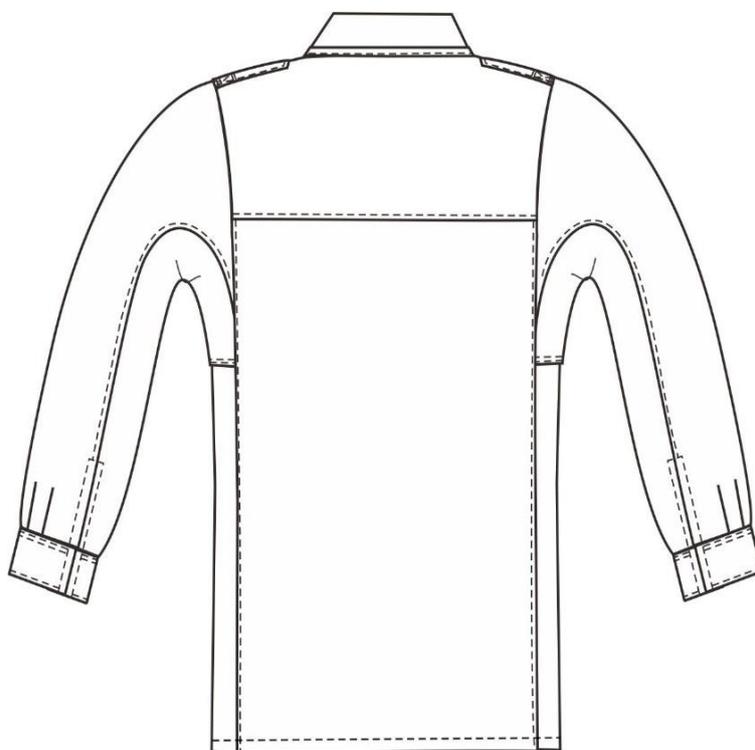
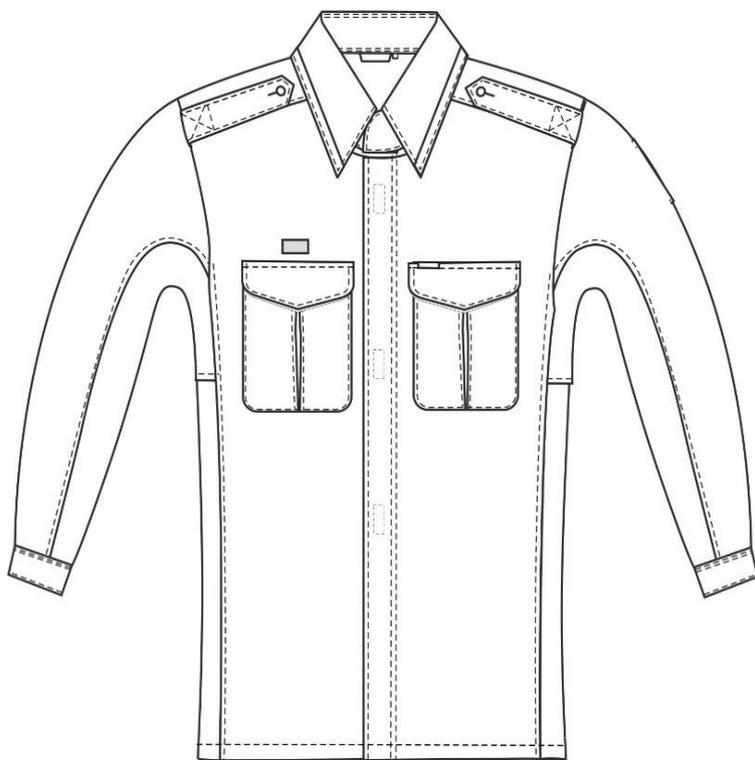
6 その他

(1) 女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。

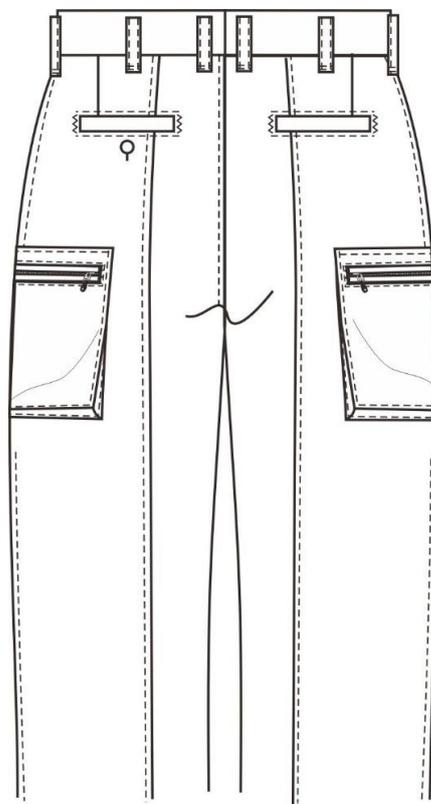
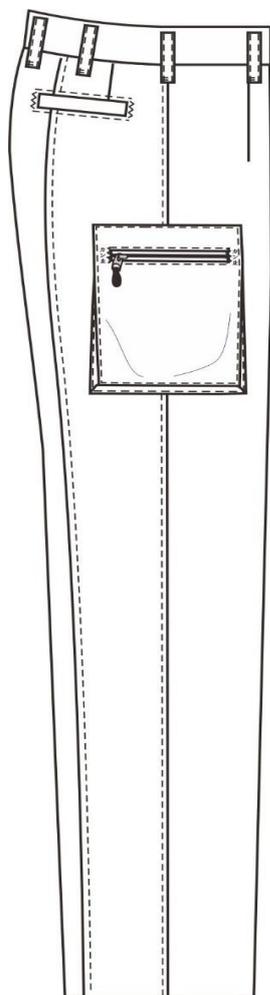
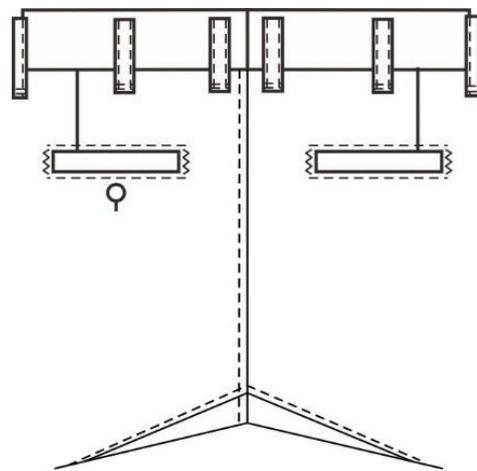
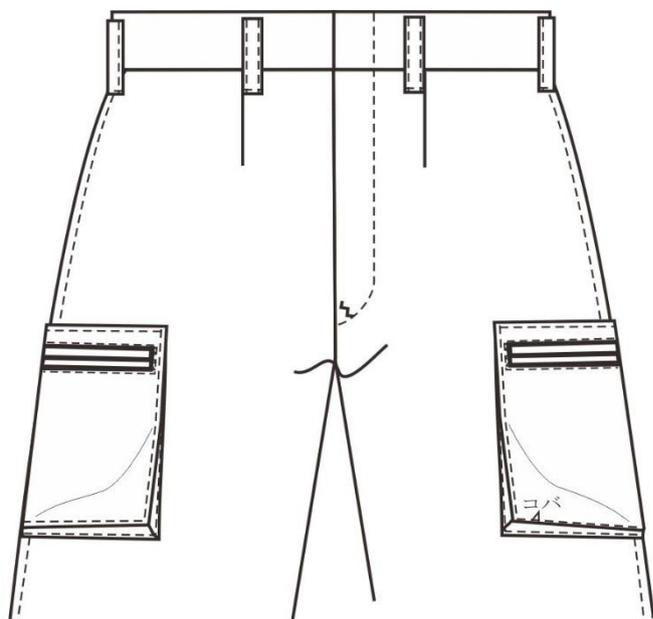
(2) 記載されていない箇所については、担当の指示によること。

概要図

上衣



下衣



救 助 服
仕 様 書

草加八潮消防局

この仕様は、草加八潮消防局、消防吏員が着用するため消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第一号）に基づき上衣、下衣ともに特殊立体構造を用いて裁断し縫製されたもので、着用時に活動しやすい良質な製品とすること。表生地は活動上の安全面に配慮し、主素材は難燃性・耐熱性に優れたアラミド繊維、また着用性に考慮した吸水・速乾ポリエステル繊維にて構成された通年対応型救助服であること。

仕様

1 総則

- (1) 当救助服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

2 型式

(1) 上衣（立体裁断）

長袖、スタンドカラー、フルジップ式、肩章付き、前立突き合わせファスナー式、袖口水かき付きファスナー、肘切替式刺子仕様（当て布不可）、前身頃刺子補強、背ヨーク刺子補強、両胸両玉縁ファスナー式インポケット、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、左胸名札用台座、左袖指定型エンブレム台座、背中指定刺繍入り

(2) 下衣（立体裁断）※内股部伸縮機能付き・刺子補強部の当て布は不可

ノータック、両脇ファスナー式立体形状カーゴポケット、後身頃切替、尻部及び前身頃刺子補強、膝部切替式刺子仕様（当て布不可）、左上前ファスナー開き前釦止め、前立てファスナー式、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き）、ベルトループ5本付、裾ベロ付きマジック調整機能

4 主材料及び使用生地

本救助服に使用する素材は、アラミドを混紡した吸水・速乾性能を有した素材とする。

(1) 素材 帝国繊維 TS82CM クールマックス®アラミド

(2) 混紡率 メタ系アラミド 75%

パラ系アラミド 5%

吸水速乾ポリエステル 20%

導電性繊維 1%以内

(3) 組織 平織（部分二重織）

(4) 色相 c/# OR（消防局事前承認済指定色）

5 縫製条件

(1) 針数

3.0cm間で地縫いは12針程度、飾り縫いは12針程度、オーバーロックは8針程度とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴・下衣はハトメ穴とする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

糸始末は丁寧に行うこと。

6 縫製要領

(1) 上衣（立体裁断）

ア 主衿

フルジップ式のスタンドカラーとし、衿巾は前側で約9cm、後衿中心で約10cmとする。前立てのファスナーは衿先までとし、衿後側には、補強の為山刺しステッチを施すこと。衿内側中心には、扇形の切り返しパーツを縫着する。

イ 前立て

突合せファスナー仕様とする。前中心は、ファスナーのムシが見えないように縫製し、衿先から前身頃に掛け続けて挟み縫いする。ファスナー下端は、着脱動作がしやすいように左右生地を閉止めに開ける処理を施す。

ウ 前身頃

前身頃には、2枚仕立ての刺子補強を施し、胸下部付近より裾にかけては、カーブ曲線を描いた刺子補強部位とする。

エ 衿吊

衿吊は衿付中央に、はさみ縫い付ける。

オ 胸ポケット

革取手付きのファスナー式インポケットとする。ファスナーは両玉縁でムシが見えないように縫着し、閉じて【外側】になるように縫製する。左ポケット内部の脇側には、2本差用のペン差しループを縫着する。

カ 背ヨーク

背ヨークは、2枚仕立ての刺子補強を施し、ストレート型とする。ヨーク巾は中央で約27cm程度とし、はさみ縫いし表一条飾りミシン縫いとする。

キ 肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ク 脇身頃

裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等、服装の乱れが起こりにくい構造とする。

ケ ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部にベンチレーション機能を設ける。

コ 袖・肘刺子

2枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

肘の伸縮をしやすいように、斜め方向に切り替え、肘部に刺子パーツを縫い合わせる（肘部刺子パーツ当て布不可）。

後袖切り替え線上の袖口に、突き合せのファスナー開きを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布(水かき)をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは、前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

サ 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）。

シ 袖口

袖は後袖切り替え線上の袖口に突き合せのファスナー開きを設け、水かき付きのファスナー開閉式とする。ファスナーは革取手付きのものを使用する。

ス 片布・品質表示・クールマックスラベル

左前胸ポケット裏面中央に縫い付ける。

セ サイズ表示

衿付の下縁に、はさみ縫い付ける。

ソ 階級章台座

右前身頃雨蓋中央1.5cm上に、縦2.5cm・横4.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

タ 肩章

巾は約5.5cmとし、端を袖付けの縫目に縫込み4cm内側に入った位置に前後をミシンステッチで上からおさえる。肩章の先は台形の形状とする。

チ 裾

シャツ型の三つ折り縫い仕上げとする。

ツ 左胸名札用台座

左胸ポケット上部に、名札用台座として面ファスナー（ループ面）を縫着する。

台座の寸法は、縦3.0cm×横7cmとする。名札の仕様については、担当課の指示に従うこと。

テ 左袖指定エンブレム台座

左袖の刺し子位置より1cm下がった位置に、消防局指定型のエンブレム台座を縫着すること。台座の形状については、消防局担当課の指示に従うこと。（9cm逆三角型）

ト 背中指定刺繍

背ヨーク部に、丸ゴシック体にて上段に「草加八潮消防局」、下段に「SAITAMA」の文字を黒色にて刺繍する。

文字の大きさ等については、「草加八潮消防局」の文字は一辺が35mm程度、「SAITAMA」の文字は一辺が15mm程度とする。

ただし、表示面の範囲に応じ変更せざるを得ない場合は、事前に発注者と協議し決定すること。

(2) 下衣（立体裁断）

ア 前タック

左上前ファスナー開きの、ノータック仕様とする。

イ 腰帯

腰裏にはすべり止め付きのマーベルトを縫い付ける。

ウ 前立て

前合わせは釦止めとし、前立てには芯を貼り、約3.5cm幅の飾りス

テッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。天狗鼻は不要とする。

エ 脇ポケット

両脇にファスナー式の立体形状カーゴポケットを縫着する。ポケットは立体形状とし、深さは約25cm、巾は約20cmを参考とする。ファスナーは閉じて【後ろ側】とする。

オ 後部・尻合わせ

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

カ 後ポケット

なしとする。

キ ベルトループ

ループ通し巾縦6.0cm、横9.0cmの計5本とする。

ク 裾口

個人別採寸とし、裾周囲には平ゴムを通して絞りゴム仕様とする。

ケ 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ 膝部刺子

膝の伸縮がしやすいように、膝の上下で切り替え、膝部に刺子パーツを縫い合わせる（膝部刺子パーツは当て布不可）。

サ 前身・尻部刺子補強

腰帯下から尻部全体にかけて2枚仕立ての切り替えパーツ式の刺子補強を施し、強度を確保し、動きやすさを損なわない設計とする。

シ 棒シック補強

内股部裏側に、棒シックを縫着する。

ス 内股補強（※伸縮機能付き）

縫い割りし、また交差部に左右対称の三角形のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を有すること。

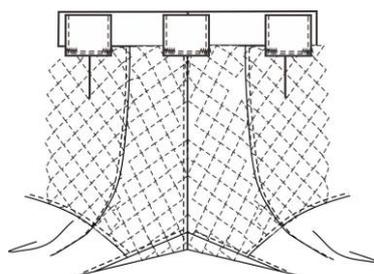
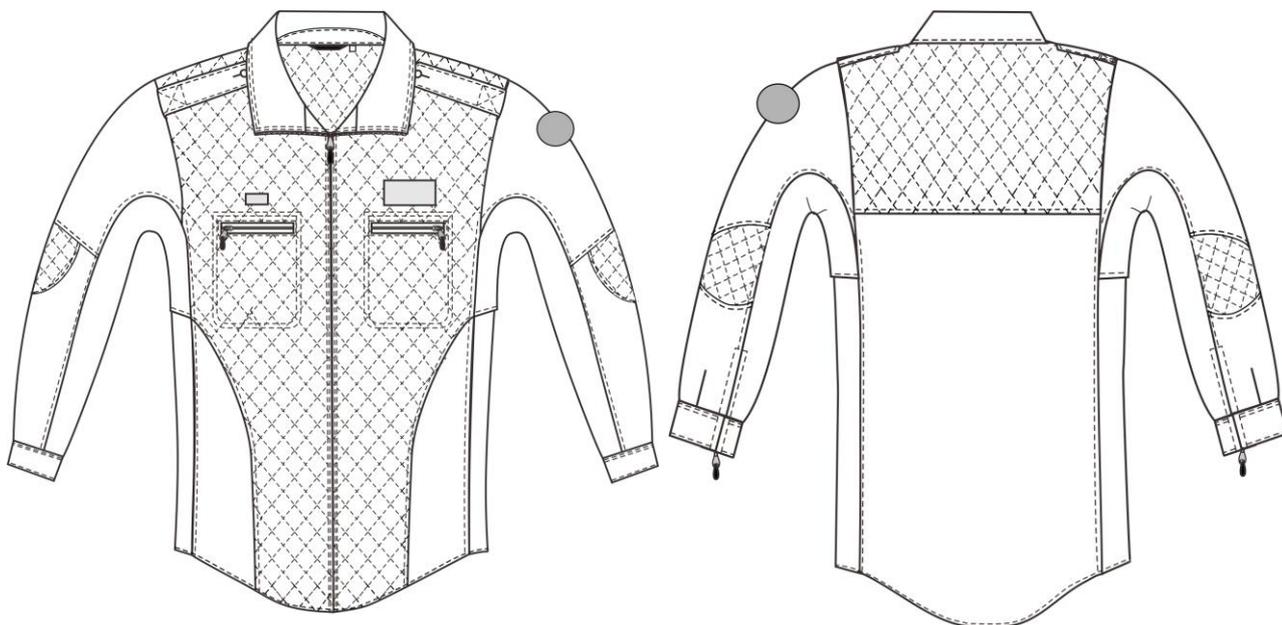
セ 片布・品質表示・クールマックスラベル

左脇ポケット裏に縫い付ける。

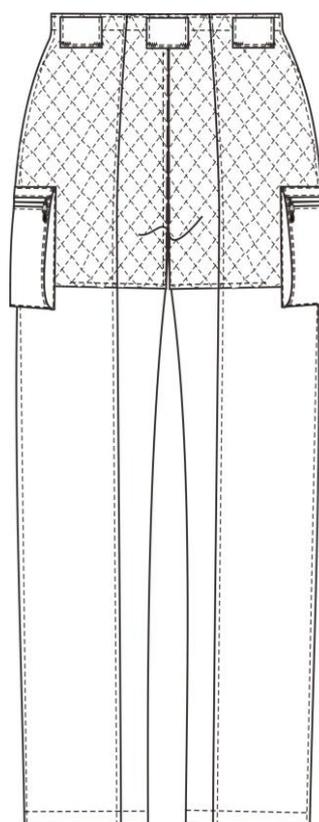
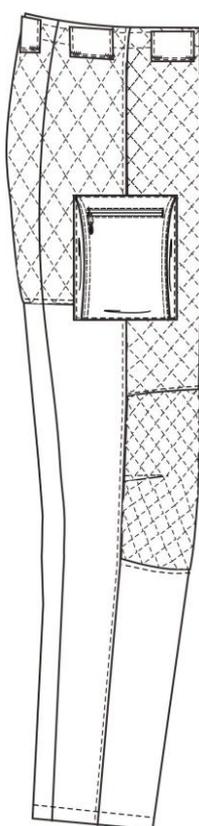
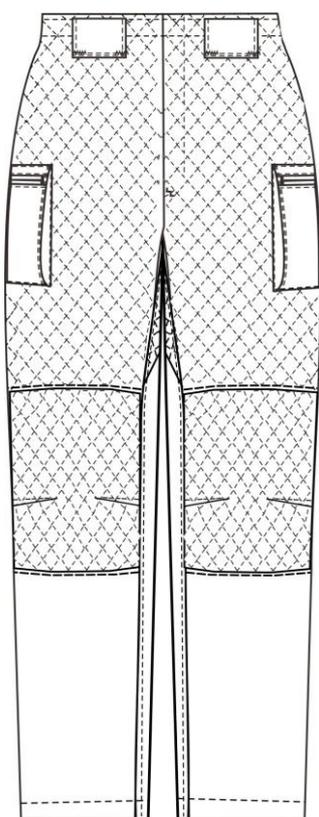
ソ サイズ表示

氏名片布にはさみ縫い付ける。

7 仕様図面



【内股伸縮構造】



8 サイズ規格表

上 衣

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
バスト	109.5	113.5	117.5	123.5	130.0	136.0	142.5	148.5
胸囲	94.0	98.0	102.0	108.0	114.5	120.5	127.0	133.0
肩巾	44.0	46.0	48.0	50.0	52.0	55.0	58.0	60.0
袖丈	55.0	56.0	57.0	59.0	60.0	61.5	62.0	64.0
着丈	73.0	73.0	75.0	77.0	80.0	81.0	84.0	86.0

下 衣

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
ウエスト	73.0	77.0	81.0	85.0	89.0	93.0	97.0	101.0
ヒップ	94.0	98.0	102.0	106.0	110.0	114.0	118.0	122.0
ワタリ	33.5	34.5	35.5	36.5	37.5	38.5	39.5	40.5
裾巾	17.5	18.5	19.3	20.0	20.0	20.5	21.5	21.5
股上	20.5	21.5	21.5	22.5	23.0	24.0	25.0	26.0